



せせらぎ



＜教育目標＞
よく考える子
心豊かな子
明るく元気な子

10月

「与え合う」でみんな幸せ

「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のとおり、ようやく過ごしやすい季節になりました。今年の「中秋の名月」は曇り空で残念ながら見られませんでした。月見団子やすずきを供え、自然への感謝と収穫祈願をされた方も多かったのではないかと思います。翌7日の朝、一部の子どもたちからは、「昨日、ぼうじぼを頑張りすぎちゃって、足が痛いです（笑）」という声が聞かれました。昔ながらの風習が脈々と受け継がれている長沼地区の素晴らしさを感じます。



さて、紅葉の時期が近づくと、「そうだ 京都 行こう」の某テレビCMが思い出されますが、10月の朝会では「そうだ 地獄と極楽を 見に行こう」と見学に出かけた男の話をしました。まずは地獄へ。地獄の食事はさぞかし粗末なものだろうという予想に反し、食卓には豪華な料理が山盛り。しかし、そこにいる人たちは皆ガリガリに痩せています。よく見ると、彼らの手には1mほどの長い箸が握られていました。必死に動かして自分の口に入れようとしますが、当然食べることはできず、イライラしたり、邪魔したり、奪い合ったりしています。次に極楽へ。豪華な料理と長い箸は同じですが、こちらは皆ふくよかで、肌もツルツルです。何が違うのかと見てみると、すぐに謎が解けました。極楽では、人々は長い箸で御馳走を挟むと、「どうぞ」と言ってお互いに食べさせ合っていたのです。「環境が同じでも、助け合うことで素晴らしい世界になるのだな」とつぶやき、男は帰って行きました。

私自身も幼い頃に耳にして大変印象に残っているこのお話は、調べてみると「三尺三寸箸」という仏教説話でした。初めて聞いた子どもたちが多かったようですが、シンプルで分かりやすい内容ということもあり、頷きながら聞いている姿が多く見られました。「2人のおじさんと2本のビール。よりおいしく飲むには？」というおまけクイズで和んだ後、最後は「お互いに喜びを与え合って みんなで幸せになろう！」と締めました。

実は先日、この話に通ずる嬉しい出来事がありました。5年生の社会科見学の帰りのバスが少し遅れ、給食の配膳時間にかかってしまいました。すると、それに気付いた4年生たちが、



「僕たちが5年生の分も運んでおきます！」と、自主的に運んでくれたのです。帰校した5年生は全員で4年生の教室に行って「ありがとうございました！」と大きな声で感謝し、「次は自分たちが」と恩返しを誓っていました。4年生も幸せ、5年生も幸せ、それを知った周囲も幸せ。私も思わず教室に駆けつけ、「ありがとう！」「素晴らしい！」と感謝と称賛を伝えました。自然にこんな素敵な行動ができる長沼っ子を、心から誇りに思います。

PTA奉仕活動

10月11日に今年度2回目のPTA奉仕活動を実施しました。5月の1回目は、側溝さらい、花壇やグラウンドの整備、体育館のワックスがけ、サッカーゴールのネット掛け替えを、今回はテント張り、体育館の椅子の整理や扉付近の清掃、記念室の整理、トイレ清掃を行っていただきました。おかげさまで見違えるようにきれいになりました。いつも学校の「応援団」として御尽力くださることに、感謝の心でいっぱいです。御参加いただいた皆様、大変ありがとうございました。

1回目(5/31)の様子



2回目(10/11)の様子





子どもたちの活動の様子



9/19 社会科見学（5年）



9/24 なす高原自然の家 出前教室



9/24 研究授業（あおぞら2算数）



9/25 研究授業（6年算数）



9/30 ドローン実演飛行見学（6年）



10/10 さつまいも掘り

10月2日 1～5年生遠足



1・2年生は壬生町のとちぎわんぱく公園へ。様々な展示物を見学し、おもちゃや遊具で心ゆくまで遊びました。



3・4年生はアクアワールド大洗へ。迫力満点のシロワニ、幻想的なクラゲ、イルカやアシカのショーを堪能しました。



5年生は日光へ。電車や路線バスで公共交通の乗り方やマナーを学びながら、二社一寺や神橋を見学しました。

お知らせ